

## 令和6年度第2回薬学実務実習ガイドライン改訂WG会議議事録（確定）

日 時 : 令和6年8月8日(木) 10:00~12:10  
形 式 : Web会議 (Zoom)  
場 所 : 日本薬学会会長井記念館 薬学教育協議会事務局 (ホスト会場)  
出席者 : 別記1  
配布資料 : 別記2

### 1. 実習施設の要件について (資料1-1~資料2-2)

鈴木委員長より施設要件については、改訂ガイドラインに薬学教育協議会において決めることが明記されていることの発言があった。また、現在、協議している施設要件は、改訂ガイドラインによる施設要件であり、本WGで原案を決めることが確認された。

#### ○薬局実務実習に対する基本的な考え方 (施設要件等) について (資料1-1、1-2)

前回のWGで各委員より提示された意見を反映した修正案である資料1-1、1-2に基づき、資料3の記載内容を引用し、本間代表理事より薬局実習の施設要件について詳細な説明が行われた。

鈴木委員長よりWGとして取りまとめる薬局施設要件の変更案(資料1-1)について、意見交換いただきたい旨の発言がなされ、種々意見交換の結果、原案を修正することで了承された。

#### ○病院実務実習に対する基本的な考え方 (施設要件等) について (資料2-1、2-2)

本間代表理事より資料2-1は、継続となる議題であることの説明があった。なお、前段部分である「基本的考え方」と「受入施設について」の項目は、日本病院薬剤師会でご検討いただくことが確認された。

また、日本病院薬剤師会が認定する認定実務実習指導薬剤師の取り扱いについては、このままとすることが確認がなされたが、薬学教育協議会の認定指導薬剤師が責任者であることが確認された。また、「受入れる学生について」の文言は、薬局実務実習の施設要件で修正した文言に変更することが了承された。

鈴木委員長より病院実習の各事項について、資料2-2について意見交換いただきたい旨の発言があり、意見交換の結果、原案が了承された。

#### ○健康診断について (資料4)

本間代表理事より、本件は、前回から継続の議題である旨の説明がなされた。

鈴木委員長から意見交換いただきたいとの発言があり、種々意見交換の結果、原案が了承された。

#### ○施設要件の確認依頼について

鈴木委員長より施設要件の各項目は、当該事項に関連する団体に文言等の内容について、確認いただくことの提案がなされ、原案が了承された。

### 2. 追加の実習について

鈴木委員長より、改訂ガイドラインに記載された追加の実習について、本WGでは今後どの様に議論を進めるべきか検討したい旨提案がなされ、了承された。

課題としては、例えば、① 8週間程度の臨地における追加実習を検討することをガイドラインに明記したこと。② 高い教育効果、現在の11週+11週の実習で十分なのかどうかということ。③ 11週+11週に更にプラスする実習はどのような内容が相応しいか等々。④ 各大学薬学部の中でどう位置付

けることができるのかどうか等々。⑤ その他 が考えられるのではないかとこの補足説明がなされた。  
その後、鈴木委員長より意見交換いただきたい旨の発言があり、種々活発な意見交換が行われた。

### 3. その他

- 施設要件について
  - ・ 本日の意見により修正の上、最終案をメールで提示。
  - ・ 当該事項の関連団体へ意見を伺う。
  - ・ 最終案確定後、病院・薬局実務実習推進委員会へ上申する予定。
- 追加実習について
  - 次回以降の WG で具体の協議事項案により意見交換を予定。
- 次回の日程は、9月12日（木）10：00～12：00 予定である。  
10月、11月、12月も当初の日程通り開催予定である。

別記 1

## 第2回薬学実務実習ガイドライン改訂WG（8月08日開催）

構成委員		氏名(敬称略)	所 属	出 欠
連絡会議メンバー		石 井 伊都子	千葉大学医学部附属病院 薬剤部長	Web
		太 田 茂	和歌山県立医科大学薬学部 薬学部長	Web
		鈴 木 匡	名古屋市立大学大学院薬学研究科 教授	Web
		本 間 浩	一般社団法人薬学教育協議会 代表理事	Web
		小 黒 佳代子	公益社団法人日本薬剤師会 理事	Web
協 力 者		大 津 史 子	名城大学薬学部 教授	Web
		角 山 香 織	大阪医科薬科大学薬学部 専門教授	Web
		小佐野 博 史	帝京大学薬学部 名誉教授	欠
		富 岡 佳 久	東北大学大学院薬学研究科・薬学部 教授	欠
		永 田 泰 造	桜台薬局	Web
		平 田 收 正	一般社団法人薬学教育協議会 業務執行理事	Web
		真 野 泰 成	東京理科大学薬学部 教授	欠
地区調整機構	関 東	中 村 智 徳	慶應義塾大学薬学部	欠
	東 海	八 重 徹 司	鈴鹿医療科学大学薬学部	Web
	近 畿	橋 詰 勉	京都薬科大学	Web
オブザーバー		文部科学省高等教育局医学教育課		Web
		厚生労働省医薬局総務課		Web

別記2 第13回 実務実習ガイドライン改訂ワーキンググループ会議 (2024.8.08)

<配付資料>

資料 1-1 薬局実務実習に対する基本的な考え方 (施設要件) ver.2 (案)

資料 1-2 (協議会版) 6年制薬局実習の受入薬局に対する基本的な考え方 (平成29年1月)

資料 2-1 病院実務実習に対する基本的な考え方 (施設要件) (案)

資料 2-2 病院における長期実務実習に対する基本的な考え方 (平成27年2月14日)

資料 3 「薬剤師養成のための薬学教育実務実習の実施方法について」(厚労省医薬食品局)

資料 4 「健康診断について」(薬学教育協議会 HP)